

令和7年度事業計画

公益財団法人 大阪国際交流センター

公益財団法人大阪国際交流センターは、昭和62（1987）年2月に設立され、同年9月開館の「大阪国際交流センター」を拠点に大阪市における地域国際化協会として、35年以上の長きにわたり大阪を中心とした関西一円において国際交流や多文化共生の取組みを通じて市民レベルの相互理解を促進してまいりました。

令和6（2024）年4月には、多文化共生社会の実現に向けた取組みにおいて、当財団が大阪市の求める役割を主体的に果たすことが可能であると認められ、外郭団体の指定を解除されました。

また、令和5（2023）年12月策定された「大阪市識字・日本語教育基本方針」に基づき、令和6（2024）年度には、「オンライン日本語教室」の拡充、ダイレクト対象日本語教室や日本語事業活動支援ボランティア研修会を新規に実施してまいりました。

令和7（2025）年度は、「オンライン日本語教室」のさらなる拡充や「生活日本語コース」の拡充を行い、外国人住民に日本語を学習する機会を広く提供してまいります。また、大阪市からの交付金事業の着実な実施に取り組むとともに、引き続き主体的に先駆的な多文化共生事業にも取り組んでまいります。特に「外国人コミュニティ連携事業」においては、外国人の居場所ともなっている「地域の日本語教室」と連携し、多文化交流会を展開し、平時だけでなく災害時などにも有効なネットワークとして、日本語教室を通じ地域住民同士で共に助け合える関係の構築をめざします。

また、令和8（2026）年度に財団設立40周年を迎えるにあたり、令和7（2025）年度から、設立40周年記念事業に向けた取り組みとして、「（仮称）大阪らしい多文化共生の今後の展開を考える研究会 ～地域国際化協会の役割～」事業に着手してまいります。

今後も、当財団は大阪市における地域国際化協会として、大阪市と連携し、国際交流や多文化共生の取組みをさらに積極的に進めてまいります。